

キラリ 熱中時間

深谷市にゆかりがあり、市内外で活躍する個人や団体を紹介します。

市内の小中学生が栄一翁について来訪者をご案内！



深沢栄一翁ジュニアボランティアガイドの皆さん

まごころを込めて 栄一翁を解説

「こんにちは。私たちは『深沢栄一翁ジュニアボランティアガイド』です。ご案内いたしましょうか？」と、深沢栄一記念館の来館者に声をかける子どもたち。

深沢栄一翁ジュニアボランティアガイドは、『栄一翁について、もっと知りたい！広めたい！』と熱い意欲を持って、市教育委員会が行う養成講座に応募した、市内の小中学生です。今年の参加者は総勢15人で、講話・調べ学習・ガイド練習や都内の栄一翁関連施設の見学など全7回の講座を経て、深沢栄一記念館と旧深沢邸『中の家』で一般の来訪者にガイドをするための、知識とスキルを身に付けてきました。

ガイドの初日、1人目のお客さんのガイドを終えた後に感想を聞くと、



▲深沢栄一記念館で来館者に解説を行う深沢栄一ジュニアボランティアガイドの皆さん

笑顔とともに、一斉に『楽しかった！』のひと言が飛び出しました。そして、その後も交代でガイドを担当し、クイズやエピソードを交えながらの説明で、来館者との会話も弾みます。

活動を通して、郷土の偉人の功績を学んだだけでなく、『博物館に興味があったので、貴重な体験になりました。』『人に話を伝えることに自信が持てるようになりました。』などと、各自の夢や自信に後押しされ、達成感に満ち溢れるジュニアボランティアガイドの皆さん。

『栄一翁の生き方はすごすぎて真似できない』と思ったそうですが、『栄一翁が大切にしていた思いやりの心を持ち、いつも笑顔でいたいです。』と、栄一翁の心は現代の子どもたちにしっかりと受け継がれています。

男女共同参画 情報コーナー

ともに認め合い 支え合う 元気と笑顔で参画するまち ふかや
 個人権政策課 ☎ 574 - 6643



深谷市女性活躍等推進事業所として、新たに『株式会社大慶堂』、『株式会社LIXILサンウエーブ製作所深谷工場』、『リケンテクノス株式会社埼玉工場』を認証しました!!

深谷市では、女性の活躍や仕事と家庭の両立支援など職場における男女共同参画の推進に積極的に取り組む事業所を『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証する制度を設けています。このたび、新たに認証事業所として『(株)大慶堂』、『(株)LIXILサンウエーブ製作所深谷工場』、『リケンテクノス(株)埼玉工場』の3事業所を認証しました。

深谷市では、今後も女性活躍等を推進する市内事業所を認証し、深谷市の女性活躍と男女共同参画の推進が図られるよう支援していきます。



これまでに『深谷市女性活躍等推進事業所』として認証した10事業所

- | | | | |
|---------------|------------|------------|--------------|
| 深谷赤十字病院 | たつみ印刷(株) | パーカーアサヒ(株) | 三菱電機ホーム機器(株) |
| カヤバ(株)熊谷工場 | 古郡ホーム(株) | (医)好文会 | (福)邑元会あかつき |
| (株)UACJ 深谷製造所 | (福)埼玉のぞみの園 | | |

ふっかちゃんの日常から 深谷が見えてくる

ふっか 散歩



127 榛の森公園

もうすぐ春だねえ。今日は春のウォーキングにぴったりの榛の森公園に来てみたよ！園内をぐるっと一周する『全周コース』、距離は短いけど坂を上っていく『展望コース』、開放感があって手軽に歩ける『調整池コース』の3つがあるみたい。どのコースにしようか迷うねえ。さっそく行ってみよう。



▲『げんき広場』には健康遊具が8台あるよ！使用方法や体のどの部分が鍛えられるか書いてあって、はじめてでも安心！すべての遊具をコンプリートできるかな？

▼ふっかちゃんのおすすめは『リズムボード』！リズム良く左右に体重移動するとグラグラ揺れて不思議な感じ。



◀すぐ横の志戸川には飛び石があつたよ！落ちないように気を付けて！

▶3月は河津桜がとってもきれい！ぜひ行って見てね！

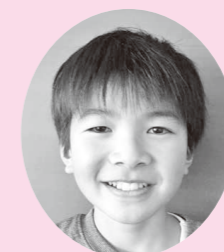


ふっかちゃんの つぶやき
 冬が終わってあっという間にほかほかな春になるねえ~♪
 春と言えば...お花見！よい美味しい団子かなあY(0≧ω≦0)Yにゃは



心の広場

八基小学校5年 五十嵐 寛和 さん



自さつを考えないように

私は、人権講話を聞いて、『ふつう』ということについての話が印象的でした。人それぞれ『ふつう』がちがいで、他の場所では通用しないということはある程度分かっていました。ですが実際に調べてみたら、ふつうが同じだった組が二組しかなくて、ふつうはそれぞれちがうということを知ることができました。周りの人に『ふつう』と言っても通じないことが多いのだと思いました。

このことよりも気になったのは、性的マイノリティーの人の自さつをしようと考えた人の人数のグラフを見たときです。一ぱんの十代の自さつしようと考えた人の割合よりも、性的マイノリティーの人の自さつしようと考えた人の割合がとても多かったからです。私は、周りの人の支えがなかったからではないかと考えました。周りの人に話さずに一人で考え、なやんでいたからだと思います。人権講

話では、そのような自さつ者を一人でも少なくしなければいけないと話していました。なやんでいる人は、一人がかかえなくて、誰かに相談してほしいと思いました。

人はそれぞれ個性があるので、決しておかしいことではないことがよく分かりました。もし実際に自分の周りになやんでいる人がいたら、迷わず相談のってあげようと思いました。そして、自さつをしようとする人の心を少しでも軽くするために声をかけていきたいです。

それが『ふつう』だと私は思うからです。

